

公立学校の屋内運動場等の天井等落下防止対策加速化事業

予算額（文教施設の防災対策の強化・推進）

平成25年度 予算(案)額 202百万円(新規)

内訳：先導的開発事業	200百万円
専門的技術者の養成	2百万円

内 容

東日本大震災では、学校施設において屋内運動場等の天井が崩落し児童生徒が負傷した例も発生。構造体の耐震化と同様、天井等落下防止対策等を緊急的に加速化する必要があるため、以下の施策を実施する。

- 屋内運動場等の施設特性や地域特性等を踏まえた「先導的開発事業」を地方公共団体等への委託により実施し、効果的・効率的な対策手法等を確立し、全国に発信することにより、全国の天井等落下防止対策等を加速化。
- 天井等落下防止対策に関する専門的な知見を有する技術者を養成するための講習会を開催し、修了者を“専門的技術者”として全国で活用していくことにより、地方公共団体等における天井等落下防止対策を促進。

地方財政措置

○天井落下防止対策のための点検経費に対する地方財政措置について（新規）

東日本大震災では、多数の建築物において天井が脱落し、かつてない規模で甚大な被害が生じたことを踏まえ、国土交通省では、地震時等における天井脱落対策に関する新たな基準への適合を義務づけること（6m以上の高さにある200㎡以上の天井）などが検討されているところ。

このような状況をふまえ、学校施設等、公共施設の安全性を早期に確保するために必要となる天井の耐震点検経費について、25年度から27年度まで所要の地方財政措置が創設される。

【対象施設（文教施設関係分）】

公立学校の屋内運動場・武道場・屋内プール、
防災拠点となっている公立社会教育・体育施設、公立文化施設

【対象施設数】

約10,000施設

* 点検と耐震対策工事を一体的に行う場合には、当該点検経費は耐震対策工事に係る財政措置の対象となる。

公立学校の屋内運動場等の天井等落下防止対策加速化事業

1)点検・対策を加速させるための専門的技術者の養成等 (25年度予算(案)額:2,176千円)

文部科学省

連携協力

学校施設に関し専門的
知識を有する団体等

学校施設整備に関する講習会の企画・実施(全国5会場)

- ・天井等落下防止対策に係る専門的な知見を有する技術者を養成するための講習会を開催。
- ・修了者を“専門的技術者”として登録したバンクをつくり、全国の自治体における活用を促進。



2)天井等落下防止対策加速化のための先導的開発事業 (25年度予算(案)額:200,214千円)

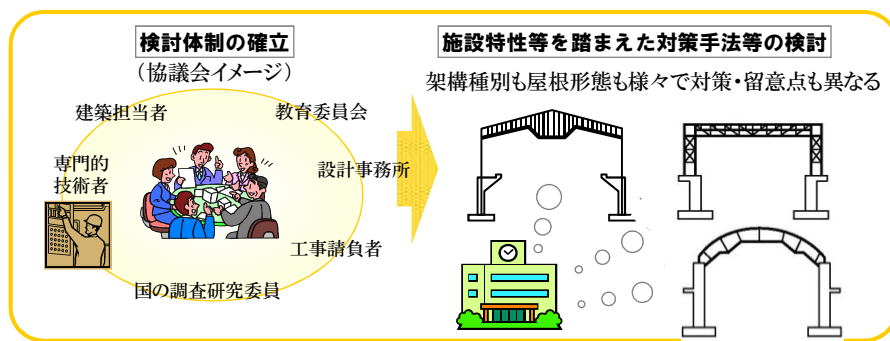
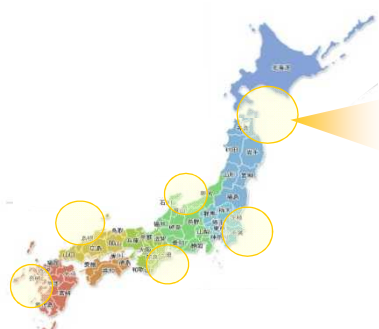
- ・学校施設の特性等を踏まえた対策事例の取りまとめ。
- ・専門的技術者を活用し対策事例を取りまとめ、効果的・効率的な対策手法等を全国に発信。

国土交通省の新基準等を踏まえた有識者会議の検討(考慮すべき特性等の検討)

天井等落下防止対策加速化のための先導的開発事業の実施

- (1)実施主体:都道府県・市町村教育委員会等(モデル実証1:8事例、モデル実証2:15事例)
- ・専門的技術者も含めた実施体制を確立し、域内の学校施設の特長等を踏まえた先導的開発を実施。
 - ・地域特性や施設の特性等を踏まえた対策手法等を検討し、技術的な留意点等を整理。
- ①モデル実証1の内容:協議会、天井調査、対策検討、設計・積算、工事(工期短縮手法開発)
- ②モデル実証2の内容:協議会、天井調査、対策検討、設計・積算
- (2)検討内容(例) 以下のような特性を踏まえた課題と対応策を整理。

学校施設の特性	児童生徒の安全確保、応急避難所としての機能、地震後の教育活動の早期回復
地域の特性	北海道・東北、関東、九州・沖縄 3地域ブロック×3(予定) 東海・北陸、近畿、中国・四国 3地域ブロック×2(予定)
施設の特性	架構種別(S、RS、R)、屋根構面の形態(鉄骨山形、アーチ、トラス形式・・)、天井の形状(傾斜、段差・・)など
工期の短縮	点検及び設計、工事を通じた多くの工種にわたる対策手法について、工事を短縮するための手法を開発



先導的開発事業の成果を踏まえた有識者会議の検討
(学校施設において考慮すべき技術基準、事例等の取りまとめ)

文部科学省として、天井等落下防止対策等を緊急的に加速化